

2005年9月10日（土）

中国の動物を知ろう！～ココシリからの便り

講師：周玲（綠色北京）

ワークショップホールでの発伝所主催イベントとして、トークショーを開催。綠色北京に在籍する周玲さんによる、チベットレイヨウの現状レポートを中心に、中国における生き物の窮状を知り、絶滅の危機から守るために何ができるかを考える機会としました。

前半は、周玲さんが中国語で解説をし、その場で姜晋如さんが通訳するというスタイルで進行。生の中国語に触れる上でもいい機会となりました。はじめに、東アジア一帯の地図を用いて、チベット高原やココシリ（可可西里）の位置を確認。特有の風土・気候がもたらす生態系と、その絶妙なバランスの中で生息してきたチベットレイヨウ（青蔵羚羊）がいかに環境の変化に繊細であるかが語られていきます。



チベットレイヨウについて語る周玲さん

本編は、現地の保護活動を記録した貴重なビデオ映像「可可西里—チベットレイヨウを守ろう」（上映時間：7分43秒）を視聴しながらの解説（13P参照）。子どもも大人も、皆さん真剣に映像を眺め、固唾を呑んでいました。開発の進む道路を往来するクルマによって轢死してしまったレイヨウの姿が大写しになると、目を背けるお子さんもいましたが、画面が進むにつれ、現実として受け容れているようでした。

後半は「クイズ！約100人に聞きました」の中から、周玲さんが北京を中心に調査してもらった質問「絶滅しそうな動物と言えば？」を行いました。周玲さんの調査に応えた北京の方々は皆、熱心だったようで、1人1答では済まず、多くの重複回答が寄せられました。

ヒントを出しながらも、会場の皆さんにドンドン当ててもらい、動物の名前が明らかになる度に、調査した本人、周玲さんからそれぞれの動物について、なぜ絶滅してしまいそうなのかを含め、丁寧に解説してもらいました。動物の危機に思いを馳せながら、その場で詳しい話が聞けるとあって好評でした。

揚子江の汚染により、固有種であるワニやカワイルカに悪影響が及んでいること。チョウザメは川の上流で産卵し、孵化してから海に戻るので、やはり揚子江が健全でないと生息数が減ってしまうこと。丹頂鶴に関しては、ちょっとした悲話も紹介され、メリハリの利いたクイズショーになりました。

中国 北京を中心に、約100人に聞きました。(5月) 答えは9つ！ 絶滅しそうな動物で思い浮かぶものは？(特に中国国内)		
パンダ	トラ (シベリアトラなど)	キンシコウ (金絲猴)
76	46	37
チベットレイヨウ (チベットカモシカ)	トキ	ツル
21	16	16
揚子江ワニ	チョウザメ	揚子江カワイルカ
14	12	9

クイズ約100人に聞きました！で動物クイズ

画面にある通り、チベットレイヨウをはじめ、中国国内で実際に絶滅の危機に瀕している動物が挙がっていることから、北京市民の関心の高さを窺い知ることができます。海を挟んだ隣国の人達の環境意識を知ってもらえたことも成果の一つと言えるでしょう。

*北京の人達が答えた動物は他に、オオサンショウウオ、野生馬、レッサーパンダなども挙がりました。熱心な方の回答文の例としては、「パンダ、丹頂鶴、七彩猴、シベリア虎、黄河象（すでに生存在していない）、ヤク、チベットレイヨウ」などもありました。